

伏尾荘秋祭りの手伝いに参加して

11月7日、秋晴れの穏やかな一日、池田市伏尾町の特別養護老人ホーム伏尾荘の秋祭りの手伝いに行きました。ナルクからは6人が参加。うち1人は箕面拠点からの参加でした。



ボランティアは私たちだけでなく、地元からも多くの方々が手伝いに来ていました。午前10時過ぎに会場に集合し、係員から説明と注意事項などについて話を聞きました。ボランティアとしての具体的な作業は入居者の方々の車椅子介助です。1人ずつが車椅子の入居者を1日付き添って介助しました。午前中は地元中学校のブラスバンド演奏から始まり、式典が行われました。式典の後は外に出て、模擬店のたこ焼き、焼きそば、おでんなど好きなものを目を輝かせて喜び、美味しそうに食べておられました。

午後からは余興がはじまり、太鼓のリズムに合わせて身ぶり手ぶりをするのが印象的でした。午後3時過ぎに終了し、部屋まで送って行きお別れをすると、「来年もよろしくね!」と言われて、感動しました私たちも弁当に豚汁、そしてお土産までいただき、楽しく帰りました。皆さまお疲れさまでした。(大井丈夫)

お誘い! 第18回豊中ボランティアフェスティバル

豊中市社会福祉協議会の設立60周年記念大会が開かれます。参加希望者は事務局・清水まで。

日時: 12月4日(土) 10時から16時まで / 場所: 豊中市立市民会館大集会室 /

内容: ステージ発表、歌声広場、ボランティアグループなどのパネル展(ナルク豊中・池田わかばの会も出展します)

その他: 記念講演 講演は NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長樋口恵子さん

コーディネーターをお引受けして……

今年1月、北緑丘豊泉家でボランティアする方々のコーディネーターをお引受けして、色々な体験をし大変勉強になりました。ナルクに入会し数年の私が大丈夫かなと思いましたが、青木さんやご一緒にボランティアする皆様のご協力を得て10か月が過ぎました。豊泉家のお年寄りの方達にわずかでもお役に立っているかなと思うと、仲間の皆様と共に嬉しく思います。今ボランティア出来る私達が何年後にか同じ立場になると思うと、介護する若い職員の方々の働き振りにほんとうに頭が下がります。高齢者をささえる若い世代が少なくなる今後は、ナルクの会員の年代の方々が補助する介護ボランティアは重要な立場にあると思います。案ずるより産むがやすしで、月1~2回ボランティアしながら、老後を考えるというのは如何でしょうか?気楽に参加してナルクのボランティアの輪を広げましょう。皆様のご参加をお待ちしています。(森口)



広報からの お知らせ・お願い

10月から会報「わかば」は、改定第1号(通巻第158号)とし、体制も新しくなり親しまれる紙面をと努力しています。また最近ではインターネットを利用する方も増えているので、会報とともに「わかばの会」のホームページの一体運用を考えています。ホームページは印刷・配布の作業が不要で、ほとんどコストがかからず作れます。皆様からの記事や写真の投稿、ボランティアとしての活動のお話、同好会の様子、季節の話題など広報宛てに(事務局のメール、Faxで)送ってください。また個人のホームページやブログ、ウェブアルバムも、ぜひお知らせを。「わかばの会」ホームページからリンクさせていただきます。(宮地)